

# 初小だより

㊦㊦はつらつとした子  
(きらきら)

㊦やさしい子  
(ほかほか)

㊦まなぶ子  
(ぐんぐん)

令和3年6月24日 第5号

壱岐市立初山小学校 文責：校長 山川 祐司

## 7月の主の行事予定

- 1日(木) あいさつ運動 なかよし音楽
- 2日(金) 「いっちゃん楽しいコンサート」
- 5日(月) クラブ活動④
- 6日(火) 学期末PTA
- 7日(水) 1年研究授業
- 8日(木) 海洋教育②
- 12日(月) 作文タイム
- 13日(火) 海洋教育③ 拡大読み語り
- 14日(水) 1・2年食育授業
- 15日(木) あいさつ運動 海洋教育④  
お楽しみ集会 (主役①)
- 16日(金) 支部児童会
- 20日(火) 第1学期終業式
- 22日(木) (祝) 海の日
- 23日(金) (祝) スポーツの日

## プールについて

学校だよりNO. 4 (6月11日発行)において、大プール使用が厳しい現状をお知らせしました。ところが、昨年度同様、功を奏し、今のところ漏水がほとんど止まりました。水田で何度もこねて時間がたてば水漏れが止まることありますが、その現象に似ています。不思議なことですが、業者に聞いても原因は分からないそうですが、いずれにせよ有り難いことです。

このままであれば、他校に行くこともなく本校で思う存分水泳指導ができそうです。いろいろと御心配をおかけしました。6月下旬もしくは7月上旬から水泳指導を開始します。

## 道徳授業参観

教育週間中の6月11日(金)に全学年道徳の授業参観を行いました。全学年とも価値項目は「生命尊重」です。1年は、ハムスターの赤ちゃんを通して、身近な生き物の生命を大切にしようとする心の育成を図りました。2年は、自分を大切にしようとする学習をしました。3・4年は、自分の命をつないでくれた先祖への感謝の気持ちをもち、かけがえのない生命を尊重しようとする心の育成を図りました。5・6年生は、難病で亡くなった女の子を通して、命について考えました。



## メディア講演会

同じく6月11日(金)に、長崎県メディア安全指導員の土谷正孝様をお呼びし、メディア講演会を開催しました。親子で聞いてもらいました。タイトルは、「テレビ・ゲーム・スマホ・タブレット 使い過ぎるとどうなる?」でした。

本校においては、今のところさほど心配することではないように思いましたが、子供たちの今後のことを考慮し、企画しました。メディアを上手に使うことの大切さを少しは理解してくれたと思います。



## 読書集会

6月7日(月)から6月18日(金)の読書旬間の締めくくりとして、6月17日(木)に読書集会をしました。図書委員会(富永莉来さん・清原舞花さん・土谷向日葵さん・日桴恋蘭さん)の企画運営で、図書クイズ、読み語り等を行いました。旬間中、6年の田口怜奈さん、5年の谷村心希さん、1年の谷村萌羽さんは、図書を24冊も借りて読んでいました。



## 職員による読み語り

6月15日(火)の読み語りは、低学年を事務職員の姫野智美、中学年を養護教諭の山口正子、そして高学年は図書ボランティアの坂口喜子様で行いました。子供たちもいつもと違う新鮮な感覚だったので、いつも以上に聞き入っていました。



## 3年アスパラ農家見学

6月17日(木)に3年生6名が社会科の学習で、東触の長嶋巨英様のアスパラハウスに見学に行きました。子供たちが長嶋様にたくさんインタビューをしました。「アスパラは好きですか?」という質問に対しては「大好きです。」という答えが返ってきました。



## 1年弁天崎公園見学

6月17日(木)に1年生4名が弁天崎公園の学習に行きました。公共施設であり、それを支えている人がいることを理解し、大切に正しく利用する態度を培うことがねらいです。子供たちは1年生なりに絵や文で一生懸命記録していました。



## 読み語り

6月22日(火)に読み語りをしました。今回は、ゲストティーチャーが坂口喜子様一人で全校児童に読み語っていただきました。



今回は「ヤクーバとライオン」という図書を読んでいただきました。人間とライオンの関わりから人のあるべき姿を描いた崇高な絵本です。柳田邦男が翻訳したことでも有名です。

1年生には難しいかなあと思いましたが、坂口様の聞かせ方も上手く、最後まで熱心に聞き入っていました。

## 2年校区内探検

2年生が生活科の学習で校区内の探検をしました。若松方面、西方面、初瀬方面と3日間探検しました。

初山に住んでいても自分の支部以外のことにはあまり知らないものです。子供たちは、多くの発見をし、歓声を上げていたようです。初山を愛し、いくつになっても初山を思い、大切にしていってほしいと思います。



## 壱岐海洋教育プロジェクト

「海に囲まれ、海によって成り立ってきた壱岐がSDGsを達成するうえで、海洋教育は必然性のある教育活動である。」という趣旨の基、令和3年度と



4年度の2か年間、壱岐市SDGs未来課(村部茂事務局次長)の御指導を受けながら進めることになりました。

壱岐市では、鯨伏小・八幡小・筒城小・初山小の4校が指定を受けました。また、今年度本校では、3・4年生が総合的な学習の時間に学習を進めます。

早速、第1回目の学習が、6月24日(木)にスタートしました。この日の先生は、昨年度まで東京大学で海洋教育を学び、今は、一般社団法人3710lab(みなとラボ)メンバーの加藤大貴先生でした。この日の課題は、

1 海について自分のしたいこと、考えたことを見つめ、そのわけとっしょに説明できる。

2 海のものを使った壱岐の料理について説明できる。

でした、子供たちは約2時間、しっかりと学習しました。

## 学校保健安全委員会

6月23日(水)に今年度第1回目の会を行いました。公私御多用のところ、光武新人校医、村瀬宏齒科校医、永富亜紀薬剤師の先生方に御来校いただき、PTA本部役員、厚生委員、学校関係者の総勢11名で行いました。

協議では、会則の検討、今年度の定期健康診断の結果に基付いた児童の健康状態の説明・質疑等を行い、研修テーマと年間計画を決定しました。

今年度の研修テーマは、「より良い基本的な生活習慣の習慣化に向けて」に決まりました。

最後に、三師の先生方からの指導助言がありました。光武先生からは、昔と比べて体格が良くなった。5・6年生の歯がすばらしい。歯は生涯大切である。突然死防止のための心電図検査の重要性について。村瀬先生からは、マスク着用時も鼻呼吸をするように。舌先が上前歯の歯茎に付いている状態が望ましい。永富先生からは、コロナ対策の恩恵で、インフルエンザや風邪が激減した。感染対策の重要性が再確認できた。など貴重なお話を聞かせていただきました。